

# 令和3年度 市民意識調査

〒市民生活相談センター ☎ 983・2621

市民の皆さんの意見や要望を市政の参考とするため、単純無作為抽出した18歳以上の男女2,000人を対象に市民意識調査を5月に実施しました。

調査は郵送およびインターネットで実施し、有効回答数は1,166件（うち、インターネットによる回答287件）でした。有効回答率は58.3%で、前年より5.6ポイント減少しましたが、インターネットによる回答が66件増加しました。

## 調査内容

### 【継続調査項目】

「居住環境」、「市の取り組みの満足度」、「各種計画の指標に関する項目」、「幸福感」、「健康」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「自治会・町内会での活動」、「環境への取り組み」、「災害対策」、「公共交通」、「男女共同参画」、「文化的環境」、「障がいのある人への理解」

### 【新規調査項目】

「広報活動」、「楽寿園」、「図書館」、「ドメスティック・バイオレンス」

## 令和3年度の新規調査項目（広報活動など）について

「広報みしま」について今後の検討資料とするため、「発行回数」と「発行方法」を調査しました。「発行回数」については、月に2回または1回の「今のままでいい(69.6%)」の割合が最も高く、次いで「月に1回(26.5%)」、「発行の必要はない(2.8%)」の順となりました。「発行方法」については、「紙の印刷物がよい(60.6%)」の割合が最も高く、次いで「紙の印刷物とインターネットなどの電子媒体のどちらも必要(26.4%)」、「インターネットがよい(11.7%)」の順となりました。

このほか、「楽寿園内で良くしてほしいところ」、「図書館の利用頻度」、「ドメスティック・バイオレンスに関すること」などについて調査しました。

## POINT ①

### 「市への愛着率」や「住みやすさ」が高い

- ▶ 「市への愛着率<sup>※1</sup>」86.8%（前年度86.5%）は、平成15年度の調査開始以降最高値となっています。  
※1 市への愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」
- ▶ 「住みやすさ<sup>※2</sup>」90.7%（前年度91.7%）も、高い数値が維持されています。  
※2 住みやすさ＝「非常に住みやすい」＋「どちらかという住みやすい」

## POINT ②

### 保健、医療、福祉のまちづくりへの期待が継続

将来都市像の調査では、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」への期待が継続しています。

将来都市像		令和3年度(前々年比 <sup>※3</sup> )	令和元年度(順位)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち	31.2%(+0.6ポイント)	30.6%(1位)
2位	自然や環境に優しいやすらぎのあるまち	19.0%(-0.4ポイント)	19.4%(2位)
3位	災害に強く安全で安心して暮らせるまち	11.9%(-0.4ポイント)	12.3%(3位)

※3 令和2年度は未調査

## POINT ③

### 「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高い

「市の取り組みの満足度」の調査では、「ガーデンシティみしま」の関連項目を中心に高い満足率が維持され、都市基盤関連の項目の不満率が高くなっています。

#### 【満足率(=「満足」+「やや満足」)上位3項目】

	項目(分類)	令和3年度(前年比)	令和2年度(順位)	令和元年度(順位)
1位	せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり(都市基盤)	67.8%(-2.8ポイント)	70.6%(1位)	67.2%(1位)
2位	公園・水辺空間の整備(都市基盤)	57.9%(-5.1ポイント)	63.0%(2位)	47.2%(4位)
3位	「広報みしま」による市政情報の提供(協働・行財政)	55.5%(-2.1ポイント)	57.6%(3位)	56.7%(2位)

#### 【不満率(=「不満」+「やや不満」)上位3項目】

	項目(分類)	令和3年度(前年比)	令和2年度(順位)	令和元年度(順位)
1位	歩道の整備(都市基盤)	44.2%(+6.3ポイント)	37.9%(1位)	46.8%(1位)
2位	生活道路の整備(都市基盤)	39.4%(+3.7ポイント)	35.7%(3位)	38.8%(4位)
3位	三島駅周辺(北口・南口)の整備(都市基盤)	37.7%(+0.4ポイント)	37.3%(2位)	39.6%(3位)

## POINT ④

### 市民の幸福感が国の平均より高い

「現在、あなたはどの程度幸せですか。『とても幸せ』を10点、『とても不幸』を0点とすると、何点くらいになるとお考えですか。」の問いに対し、市民の平均点は6.87で、国の平均点6.38<sup>※4</sup>を上回っています。幸福感を判断する際に重視する事項は、前年と同じでした。

※4 厚生労働省「健康意識に関する調査」より(対象20歳以上・5,000人、平成26年2月実施)

#### 【幸福感平均点】

調査	令和3年度	令和2年度	令和元年度
幸福感平均点(とても幸せ:10点、とても不幸:0点)	6.87	6.94	6.82

#### 【幸福感を判断する際の重視事項(複数回答可)】

	項目	令和3年度(前年比)	令和2年度(順位)	令和元年度(順位)
1位	健康状況	58.7(-8.2ポイント)	66.9(1位)	60.0%(2位)
2位	家族関係	56.7(-5.6ポイント)	62.3%(2位)	60.4%(1位)
3位	家計の状況	54.5(-3.7ポイント)	58.2%(3位)	55.3%(3位)

調査にご回答いただいた皆さん、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。調査の詳細につきましては、9月上旬公開予定の市ホームページをご覧ください。